

令和 7 年度事業報告

(1) 法人 本部

① 概要

ア.利用者及び家族へのサービス提供の充実

- 入館者（家族等）については、体調良好で入館時の体温測定で発熱等が無い方はマスク着用のうえ入室可能としている。ご家族の訪問回数や滞在時間の延長がみられ、入居者の様子や生活をみていただく機会が増えた。また、訪問時に職員との交流が増え、都度お話を伺うことで関係を深めることができた。
- ケアハウス新規入居時や心身の状態変化に伴う利用者及び家族の不安を解消するため、初期対応及びタイムリーな相談支援の強化に努めた。入居直後のきめ細やかな声掛けを実施し、生活の早期適応をサポートした。また状態の変化や日々の相談などに丁寧に対応し、安心感につなげることができた。新規入居者からの紹介で、親族（兄弟等）が入居を検討し早い段階で申し込みを行ってくださるケースもみられた。
- デイサービスや小規模多機能型居宅介護においても、新たに利用を開始される時には、お気持ちやご要望を丁寧に汲み取りながら対応を進め「安心できた。ずっと利用したい」といった声をきくことができた。
- ケアハウス入居者の疾患や怪我などでの状態変化や体調不良時の対応、在宅利用者の家庭での状態・状況の変化に伴う対応など、各部署への報告・連絡・相談などを頻繁に行った。安全に安心して過ごせるよう各部署と連携を強化し生活を維持できるように努めている。
- 夏祭りを「ふれあい万博」と銘打って、大阪関西万博にちなんだ飾りつけやゲームの雰囲気を楽しんでもらった。また、大阪関西万博のパビリオンの映像を觀賞していただく機会をつくり喜んでいただいた。実際に足を運んで楽しむことが出来なくなっても話題になっている事柄や季節の事柄を近くに感じてもらうことで、生活の活性化や社会との関わりを継続できたと思われる。
- 調理師 2 名中 1 名が整形外科疾患のため 4 月から 8 月まで休職し、その間調理師が 1 名になったため、週 2 回程度仕出し弁当で補った。お弁当中も 1 品は温かいメニューを追加したり主食を炊き込みご飯にしたり工夫を行いながら食事を提供した。その後、1 名が退職したが、2 名が入社し、調理師 3 名の体制で食事の提供を行っている。健康増進、食べる楽しみを向上できる食事提供を目指している。

イ.地域福祉の推進

- 7 月 16 日 西幼稚園児が来訪し、お遊戯、歌、手遊びなどで交流を図った。
- ケアプランセンターに、居宅介護支援専門員実務研修（現場実習）の依頼があり、4 月 1 名、7 月 1 名の受け入れを行った。
- 包括支援センターに社会福祉士研修の現場実習の依頼があり、1 名の受け入れを行った。
- 地域の集いや行事等への直接的な関わりは少ないが、沢町会の行事への協力や近木川クリーンキャンペーン等への参加及びお土産の提供などを行った。また、地域の運動会（11 月）で血圧測定や血管年齢測定の依頼があり包括支援センターが参加した。

ウ.人材確保と育成

- 昨年度に比べ、退職される方の人数が減少し、特に入社後短期間で退職される方はなかった。
ただし、勤続年数が10年を超えた職員（介護職員・調理師・社会福祉士等）の退職があった。
- 非常勤（短時間勤務）の介護職員については、勤務日数の増加や勤務時間の延長などの希望があり出来る限り希望に添えるように配慮している。
- ケアプランセンターのケアマネジャー2名がスキルアップのために、主任介護支援専門員研修を受講し終了した。受講にあたりシフトの調整等を行った。
- スキルアップのため資格取得を目指し、小規模多機能型居宅介護の職員1名が介護福祉士の資格を取得、ケアプランセンターの職員1名が社会福祉士の資格を取得した。資格取得をした職員には、お祝い金を支給した。
- （福利厚生）阪神タイガース年間シートを契約し希望の職員が観戦を行った。
観戦者は一部の職員に限定されることなく、様々な職員が希望されれば空き日をつくることなく活用できた。
- （福利厚生）腰痛を訴える職員があったため希望者に腰痛ベルトを配布し、症状の悪化を防ぎ安全に業務ができるよう対応した。
- 「介護ロボット導入」「テクノロジー活用」などを目指し、「JKA補助金事業」の申し込み（特殊浴槽（デイサービスセンター））を行ったが令和7年度は不採用となった。
- ICTの活用として、ケアプランデータ連携システムの導入準備を行った。今後、ケアプランデータ連携システムの活用、タブレットの導入やAIの活用などを行っていききたい。また、それらに伴うセキュリティ対策についても検討していく。

エ.施設整備について

- デイサービスセンターの温水器交換を、4月19～20日に実施した。
- 建物、機器、備品（椅子や机）などを日々点検し老朽化や不具合により入居者・利用者に不便や危険が及ばないように、修理や必要に応じて入れ替えを行っている。

オ.防災への取り組みについて

- 火災に対するもの、地震や豪雨・暴風に対するものなど様々な災害を想定して備蓄品の点検や補充の見直しを行っている。
- 避難訓練時に、火災に関するDVDを見ていただき心構えや方法を周知することが中心であったが、今年度は火災の伴わない地震や台風（豪雨・暴風等）に対する心構えの講話も併せて行った。今後も映像等を用意し分かりやすい形で周知していく。
- 令和7年度に、近畿地方に被害をもたらす台風や線状降水帯発生等の豪雨・暴風はなかった。
常に気象庁からの情報等には注意をはらっている。
- 定期的に非常用自家発電機及びスプリンクラーの点検を行い、バッテリーの交換や燃料の補充など災害時に確実に稼働できる状態を維持している。
- 厚生労働省の災害情報共有システムへの登録を行っており、R7年5月16日に災害時情報共有システムの訓練に参加し、報告を行った。

カ.感染症の予防及びまん延の防止について

- 日々の感染症予防及びまん延防止のための対策を継続している。
- 感染症予防及びまん延防止のための備品の点検や補充を定期的に実施している。
- インフルエンザワクチン接種の実施について、10月に入居者、11月～12月に職員が接種し

た。(入居者の無料接種券申請(非課税の方対象)、職員は法人が費用負担を行い接種)

○インフルエンザ等の感染症への罹患者はなし

○7月に入居者2名が新型コロナウイルスに感染。重症化はなかったが1名は自室療養中に筋力低下及び意欲の低下が目立ち介護量の増加がみられた。

キ.その他

○安全運転管理者は、10月16日に安全運転管理者講習を受講した。

業務で車両を運転する職員を対象に、就業前にアルコール検知器での酒気帯の確認及び疲労・睡眠不足の状態の有無のチェックを継続している。

○寄付金について、ケアハウス入居者2名のご家族より、退去後に寄付の申し出があり、計400,000円の寄付があった。用途は法人に一任とのことで、「入居者が利用できる設置式の血圧計」「ワゴン台」「ケアハウス食堂のテレビ(動画配信アプリ内蔵のテレビであり、入居者の方にYouTubeで万博パビリオンの映像鑑賞等に活用した)」を購入した。寄付を頂いたご家族には、退去後に来所された時に現物を見ていただいた。

② 大阪府等の補助金・支援金

名称	実施団体	対象	申請日	金額等
令和7年度介護人材確保・職場改善等事業	大阪府 (厚生労働省)	デイサービス 敏庵 ヘルパー 小規模多機能	R7.4.8	合計 920,215 円 ⇒対象事業所職員に支給
大阪府社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金事業 (第4弾)	大阪府	ケアハウス デイサービス 敏庵 ヘルパー ケアプラン 包括支援センター 小規模多機能	R7.7.22	合計 436,950 円
大阪府社会福祉施設等従事者支援(第3弾)	大阪府	従業者全員	R8.2.10	従事者に3万円分のギフトカードの配布
大阪府社会福祉施設等物価高騰対策一時金支援事業 (第5弾)	大阪府	ケアハウス デイサービス 敏庵 ヘルパー ケアプラン 包括支援センター 小規模多機能	R8.2.10	合計 873,900 円

介護分野の職員の賃上げ・環境改善支援事業の補助金	大阪府	デイサービス 敏庵 ケアプラン 包括支援センター 小規模多機能	R8.2.11	合計 2,965,000 ⇒対象事業所職員に支給
--------------------------	-----	---	---------	--------------------------------

③ 理事会・評議員会の開催状況

		主な内容
R7.5.15 13:00～16:00	監事監査	
R7.5.26 13:30～14:15	第96回 理事会	①1) 令和6年度事業報告 2) 令和6年度計算書類等 3) 監事監査報告 ②令和6年度社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画について ③次期役員の選任について ④次期評議員の選任について 推薦候補者について、推薦理由の説明について ⑤次期評議員選任・解任委員の選任について ⑥第4回評議員選任・解任委員会の招集について ⑦定時評議員会の招集と提出議案について
R7.6.12 13:30～13:45	第4回 評議員選任・ 解任委員会	①任期満了に伴う次期評議員の選任について
R7.6.19 13:30～14:20	定時評議員会 (第75回)	①令和6年度 計算書類 (令和6年度事業報告、監事監査報告) ②令和6年度社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画について ③任期満了に伴う次期役員の選任について
R7.6.19 14:50～15:05	第97回理事会	①任期満了に伴う次期理事長及び常務理事の選任について ②育児・介護休業等に関する規則の規定の変更について
R7.11.6 13:30～14:05	第98回理事会	報告事項 ①理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
R8.3.11 13:30～14:30	第99回理事会	①令和8年度 事業計画(案)・予算(案) ②役員等賠償責任保険契約の内容について ③評議員会の招集と提案議案について 報告事項 ①理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
R8.3.27 13:30～14:20	第76回 評議員会	①令和8年 事業計画(案)・予算(案)

④ 職員研修状況

〈外部研修〉

	研修名	実施団体	参加所属
R7.6.13	精神科訪問看護のここが知りたい 訪問看護の制度と対応が難しい方への 関わり方 (ZOOM)	大阪府訪問看護ステーション協会泉南ブロック	ケアプランセンター
R7.6.19	R7 年度 他法人が運営する居宅介護 支援事業者との共同事例検討会	居宅介護支援事業所	ケアプランセンター
R7.7.29	貝塚市介護部会情報交換会	貝塚市介護保険事業者連絡会 居宅介護支援部会	ケアプランセンター
R7.9.14	令和 7 年度岸和田保健所管内研究会 定時総会 講演「給食経営管理の最近の話題」	岸和田保健所管内給食研究会	ケアハウス (栄養士)
R7.11.9	在宅医療・介護で実践する 痛みケアとエビデンス (zoom)	令和 7 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム均てん化等事業—近畿地区—	ケアプランセンター
R7.11.20	地域に必要な社会資源と地域連携ネットワークの構築	貝塚市介護保険事業者連絡会 居宅介護支援部会	ケアプランセンター (包括支援センター参画)
R7.12.5	食中毒予防について	岸和田保健所管内給食研究会	ケアハウス (栄養士)
R7.12.6	意思決定支援・権利擁護支援の基本的な考え～権利擁護サポートセンター かいづか設置記念講演～	包括支援センター	ケアプランセンター (包括支援センター参画)
R8.1.20	令和 7 年度在宅人工呼吸器・気管切開患者等の災害対応に関する研修会	大阪府岸和田保健所	ケアプランセンター 包括支援センター
R8.1.21	令和 7 年度厚生労働省委託事業 「後見人等への意思決定支援研修」 (zoom)	厚生労働省委託事業	ケアプランセンター
R8.1.22	令和 7 年度特定給食講演会 (YouTube)	大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課	ケアハウス (栄養士)
R8.2.7	人生会議 (ACP) に基づく心肺蘇生等を望まない心肺停止傷病者に対する救急隊の活動について	貝塚市在宅医療・介護連携推進懇話会 (つげさん在宅ネット)	ケアプランセンター (包括支援センター参画)
R8.2.27	令和 7 年度長寿社会開発センター研究 セミナー (WEB) 難病支援の考え方と支援の視点～難病	長寿社会開発センター	ケアプランセンター 包括支援センター

	ケアマネジメントの過程を学ぶ～		
R8.3.19	生成 AI ツール活用実践セミナー	老人施設部会 軽費分科会	ケアハウス

R7.7 月	令和 7 年度大阪府・市町村社会福祉法人施設等 指導監査合同説明会⇒HP 上の資料をダウンロード、YouTube 視聴し、報告書の提出を行った。	広域事業者指導課	法人
	軽費老人ホーム「令和 7 年度指導・研修会」 ⇒HP 上の資料をダウンロード、YouTube 視聴し、報告書の提出を行った。	大阪府	ケアハウス
	令和 7 年度指定居宅サービス事業者等集団指導 ⇒HP 上の資料をダウンロード、YouTube 視聴し、報告書の提出を行った。	広域事業者指導課	各介護サービス 事業所

	講習会	参加所属
R7.11 月	認知症介護基礎研修	デイサービスセンター 3 名

〈社内研修〉

	内容	テーマ
R7.4.25	食中毒事例検討及び発生予防まん延の防止に関する研修 (業務継続計画に沿って、研修・訓練)	食中毒に対する在宅の現場で出来る予防法とやりがちな NG 行動とは？
		研修（感染症予防について） 机上訓練（ゾーニングの周知・陽性となった方への対応）
R7.5.16	接遇に関する研修	接遇マナー～印象が変わる 5 つの基本～
R7.6.27	身体拘束等排除のための取り組みに関する研修	アセスメントによる安全確保と個別ケアの実践
R7.6.27	虐待防止研修	高齢者虐待対応の流れ・事例検討
R7.7.25	非常災害時の対応に関する研修 非常災害時の避難・救出に関する研修 (業務継続計画に沿って、研修及び訓練)	災害発生時の基本的な避難行動について 入居者・利用者の全員が基本的な避難行動を知っていてその通りの行動ができるのか？
R7.8.25	事故発生予防及びまたはその再発に関する研修 事故の発生等緊急時の対応に関する研修	交通事故発生時の対応について
R7.9.26	倫理・法令遵守研修	介護のプロとしての倫理観の理解・法令に基づいた行動
R7.10.26	感染症発生事例検討、感染症の発生の予防まん延の防止に関する研修	研修：感染症発生時の初動対応と感染拡大防止

	(業務継続計画に沿って、研修・訓練)	机上訓練：感染者が発生した際の初動対応～濃厚接触者となった入居者への対応
R7.11.22	身体拘束等排除のための取り組みに関する研修	身体拘束等の適正化と防止策のポイント
	虐待防止研修	高齢者虐待の定義・対処法と事例紹介
R7.12.26	認知症及び認知症ケアに関する研修	行動・心理症状（ＢＰＳＤ）のある人への接し方～事例から～
R8.1.26	非常災害時の対応に関する研修	研修：災害発生時の具体的な動き～風水害発生時～ 訓練：災害発生時を想定し机上訓練
	非常災害時の避難・救出に関する研修 (業務継続計画に沿って、研修及び訓練)	
R8.2.24	事故発生予防又は再発防止に関する研修	ヒヤリハットの重要性
R8.3.26	プライバシーや個人情報の保護に関する研修	プライバシーと個人情報

⑤ 職員関係の会議・各委員会

	委員会	研修
身体拘束等廃止委員会	3 か月に 1 回委員会開催	社内研修（年 2 回）6.27、11.22
高齢者虐待防止委員会	3 か月に 1 回委員会開催	社内研修（年 2 回）6.27 11.22
感染症対策委員会	3 か月に 1 回委員会開催	社内研修（年 2 回）4.25 10.26
事故発生防止委員会 (リスクマネジメント委員会)	毎月	社内研修（年 2 回）8.25 2.24

職員関係	職員会議（月 1 回）	給食会議（月 1 回）
------	-------------	-------------

⑥ 職員の健康診断

常勤・非常勤の健康診断	年 1 回	りんくうタウンクリニック 徳州会病院 高松内科	R7.5～11 月頃
宿直者の健康診断 (9 名)	年 2 回	(1 回目) 上記同様 (2 回目) 高松内科	1 回目 上記同様 2 回目 R7.12～R8.3

⑦ 採用状況・退職状況（R7.4～R8.3）

(単位：名)

	職種	退職		入社	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤
ケアハウス	調理師	2	1	2	0
デイサービスセンター	介護職員	2	1	0	4
	看護師	0	2	0	3
デイサービスセンター敏庵	看護師	0	1	0	0

ヘルパーステーション	—	0	0	0	0
ケアプランセンター	—	0	0	0	0
包括支援センター	社会福祉士	1	0	0	0
小規模多機能型居宅介護	—	0	0	0	0
合 計		5	5	2	7
		10		9	

○R8.3 月末職員数（施設長・事務長除く）

部署	職種		基準職員数	常勤	非常勤	合計	総合計
ケアハウス	生活相談員		1 名	1	0	1	10
	介護職員		2 名	2	0	2	
	事務員		1 名	1	0	1	
	栄養士		1 名	1	0	1	
	調理員		—	3	0	3	
	調理補助		—	0	1	1	
	清掃員		—	0	1	1	
デイサービス	生活相談員		3 名	5	0	5	24
	介護職員		利用者 5 名に対して常勤換算 1 名＋通所型サービス A の職員 1 名	1	13	14	
	看護職員		常勤換算 2 名	0	4	4	
	調理補助			0	1	1	
敏庵	生活相談員		1 名	2	0	2	7
	介護職員	柔道整復師	利用者 5 名に対して常勤換算 1 名＋通所型サービス A の職員 1 名	2	0	2	
		初任者研 その他		0	3	3	
ヘルパーステーション	サービス提供責任者		常勤換算 2.5 人以上	2	0	2	5
	訪問介護員			0	3	3	
ケアプランセンター	主任ケアマネジャー		1 人	1	0	1	5
	ケアマネジャー		—	4	0	4	
包括支援センター	主任ケアマネジャー		1 名	2	0	2	4
	看護師		1 名	1	0	1	
	社会福祉士		1 名	1	0	1	
小規模多機能型	計画作成担当者		1 名	1	0	1	5
	介護職員		通いサービス利用者 3 名に対して職員 1 名＋訪問サービスの職員	3	0	3	
	看護職員		1 名	0	1	1	
			合 計	33	27	60	

(2) 各事業所事業報告

①軽費老人ホーム（ケアハウス） 定員 40 名

ア.概要

- 令和 6 年 4 月に外出制限を解除して 2 年以上が経過した。但し何でも自由ではなく外出・外泊に多少のルールは設け、安全で安心な施設運営を行う為に入居者・ご家族にもご協力頂いた。
- 上半期に複数名がコロナに罹患されたが、下半期は予防対策が功を奏したのかコロナやインフルエンザ、ノロウイルス等の罹患者を出すことなく運営することが出来た。
- 1 年間で 18 件もの入院が有り、施設復帰が出来ないケースが多く、11 名もの退去者が有った。
- 入居者の高齢化や ADL の低下、職員の業務の多様化などの理由から行事の規模が小さくコンパクトになってしまっており、当施設の持ち味であった「行事の楽しさ」が希薄化していた。
- 参加者が少ないクラブ活動等を一旦中止し、「レクの日」というどんな企画でも行えるものを開催。入居者にとって「楽しい内容って何だろう」を考えることに繋がっている。
- 新しく入居された方々がお元気な方々で、入居前から積極的に散歩等をされていた方々なので、昨年と比べ「入居者様単独の外出」は相対的に増えている。但し 85 歳未満の方は外出されているが 85 歳以上の方の単独での外出はほとんどない。
- 入居者の日々の状態確認や職員間での情報交換を行い、支援について共通意識を持って取り組んだ。またご家族のメンタルフォローや入居者の生活の様子への伝達などもしっかりと行なった。
- 今年度だけで 11 名の方が退居された。近年で一番多くかつ待機者が少なかった事もあり、複数の月で空室を発生させてしまった。令和 8 年 4 月 1 日時点で満床に戻すことが出来たが、常に満床で運営していけるよう、待機者の確保をもっとしっかりとしていかなければならない。
- 天災（台風・大雨など）についてテレビやインターネットなどの情報を積極的に入手し有効活用することで、適切な対策を立てる事が出来た。

イ.入居者状況

(ア) 入退院状況

月	内科的入院	外科的入院
4 月	なし	なし
5 月	○5/27 市立貝塚病院入院～5/28 退院。大腸内視鏡検査及びポリープ切除術の為入院。大きな問題なく翌日退院。	○5/14 貝塚記念病院入院～7/29 老健岸和田徳洲苑に移動。5/13 に居室内で転倒し右ひじに打撲痕有。動けているので様子見をしていたが 5/14 も居室内で転倒。右手が痛みで動かしく貝塚記念病院受診し右ひじの骨折判明、入院。ギブス固定でくっついたが安静にしていた間に下肢筋力の低下があり老健にてリハビリを実施する為に移動。
6 月	○6/9 市立貝塚病院入院～。4 月頃から食事が減り肝臓や心臓等色々な検査をしたが明確な原因がわからず。6 月に入ると黄疸も出てきて、入院加療が必要とかかりつけ医が判断し市立貝塚病	○6/18 岸和田市民病院入院～7/7 原病院転院～。入居時からどことなくしんどそうで、かつ体重減少が著しかった。6/16 居室内で転倒。何とか動いていたが 6/17 も再度転倒。葛城病院受診し圧迫骨

	院に入院。胆管がん発覚。6/17 病院にてご逝去なされた。	折の所見はあったが最近のものか以前のものか判断付かず後日 MRI 実施するとのことで帰園。ただ痛みで一切動けず現状では弱るだけと判断。娘に連絡し岸和田市民病院に救急搬送し入院。圧迫骨折と併せて肺炎も発覚。その後肺に水が溜まったり心不全を起こされたりし、7/25 に原病院にてご逝去された。
7 月	○7/1 水間病院入院～。認知症があり他者への攻撃性が以前から見受けられる方で、他の入居者に色々と指摘され、それを第三者に話したのではないかと興奮し詰め寄る。適宜職員が間に入り制止したが、度々興奮し詰め寄ることがあった。朝食前に玄関ホールで興奮し詰め寄り押し倒そうと手をあげたことから、施設での生活を続けることが困難だと判断され精神病院に入院し退去となった。	なし
8 月	○8/31 河崎病院入院～9/10 退院。8/30 デイ利用の為降りてきたがフラフラしていて血中酸素飽和濃度が 85%しかなく、少し休憩すると 98%まで回復した為様子見としたが 8/31 もしんどそうで血中酸素飽和濃度が 85%でご家族の判断で河崎病院受診、貧血の数値がひどく入院となった。貧血の原因は不明だが輸血にて数値安定し、本人も元気になられた為退院された。	なし
9 月	○9/18 市立貝塚病院入院～。9/10 に河崎病院から退院されたが、9/12 頃から前回入院前のようなフラフラした状態に戻る。9/16 かかりつけ医で採血し再度貧血になっている点と炎症反応も出ており原因究明の為に貝塚病院を紹介され受診し、貧血の数値がひどく入院。濾胞性リンパ腫と判明。11/7 病院にてご逝去なされた。	なし
10 月	○10/22 岸和田徳洲会病院入院～10/27 退院。心臓ペースメーカーの電池交換の為入院。大きな問題なく 10/27 退院。 ○10/30 岸和田徳洲会病院入院～11/26 退院。炎症反応が高値で原因が不明、検査をする為に入院。リウマチ性多発筋痛症と判明、ステロイドを服用し、炎症反応が下がった為退院。	○10/14 葛城病院入院～。10/10 に居室内で転倒。様子を見ていたが徐々に痛みが増し、10/14 に葛城病院受診。レントゲン・MRI 実施し尾骶骨の骨折が判明し入院。治療後リハビリし復帰予定であったがリハビリが思うように進まず、当方への復帰は困難であると病院・家族が判断。退院し住宅型有料老人ホームへ転居されることになった。
11 月	なし	なし
12 月	○12/11 岸和田徳洲会病院入院～12/17 岸和田リハビリテーション病院転院～2/17 退院。急に腕が上がらない、動かないという状況になり岸和田徳洲会病院受診。脳梗塞と診断され入院。治療しリハビリ病院に転院後リハビリ後退院となった。 ○12/11 市立貝塚病院入院～12/13 退院。白内障の手術の為。 ○12/17 東佐野病院入院。12/16 午後より急に歩けなくなり肩の痛みと下肢の脱力があり岸和田徳	○12/8 市立貝塚病院入院～。12/7 夜に居室で転倒。翌朝食に降りてこられず訪問。痛みがある為たなか整形受診し骨折疑いで市立貝塚病院受診。大腿骨のズレ疑い、MRI 実施の為入院。骨折判明し治療後リハビリ復帰予定であったが、思うように進まず施設復帰は困難との話で、老健に移動後退居となった。

	洲会病院受診。一先ず抗生剤を服用し様子を見るよう指示あり帰園されるも状態改善せず。12/17再度岸和田徳洲会病院受診し横紋筋融解症と判明、系列の東佐野病院に入院。治療後リハビリ予定であったが下肢筋力の低下が著しく復帰困難と病院と家族が判断。老健に移動され退去となった。	
1月	○1/8 市立貝塚病院入院～1/10 退院。白内障の手術の為。 ○1/14 市立貝塚病院入院～1/26 退院。1/13 高松内科で受けた採血で肝数値が異常に上昇しており、すぐに消化器科を受診した方が良いとの話があり、貝塚病院受診。胆管が狭まりかつ石も詰まって炎症を起こしているとのことで入院。治療し数値が落ち着いた為退院。	○1/31 市立貝塚病院入院～。夜間居室内で転倒し、ナースコールを押し発覚。骨折の可能性高く救急要請し市立貝塚病院へ搬送。右大腿部骨折判明し入院となった。手術完了後現在復帰に向けてリハビリ中。
2月	なし	○2/27 市立貝塚病院入院～。2/19 から腹痛を訴え、整形外科、内科等受診したが痛みの元が判明せず、市立貝塚病院整形外科受診し一旦入院。圧迫骨折判明。4月に退院予定。
3月	なし	なし

(イ) 入退去状況

月	月初 入居 者数	退去者		入居者		月末 入居 者数
		人数	概要	人数	概要	
4月	40	1	○91 歳女性 2月に転倒し右大腿骨骨折し佐野記念病院に入院。手術実施しリハビリを始める矢先に腰椎圧迫骨折も判明。圧迫骨折の手術も実施。リハビリを頑張られたが施設復帰は厳しいとの話になり退去となった。	1	○89 歳男性 貝塚市内で独居生活を送っていた。元々デイをご利用されていた方でお元気だったが、脊髄異形成症候群を患い毎週輸血が必要な状態になり、体調面で独居生活に不安を感じ入居となった。	40
5月	40	0		0		40
6月	40	1	○95 歳女性 食欲不振や飲水・服薬の拒否、錯乱等見受けられ3月末に西出クリニックに入院したが状態が改善せず、当施設に戻ってきて生活することが困難であると家族が判断し、退去となった。	1	○77 歳女性 貝塚市で長女夫妻と同居されていた。昨年中に様々な病気で体調を崩し入院され、治療の末に体調が落ち着き、元気を維持することを目的として当施設に入居された。	40
7月	40	0		0		40
8月	40	2	○99 歳女性 4月頃から食事量が減り色々な検査をしたが明確な原因がわからず、6月に黄疸も出てきて、入院加療が必要とかかりつけ医が判断し市立貝塚病院に入院。胆管がん発覚し療養されたが病院	1	○81 歳女性 阪南市の娘宅近くで独居生活を送られていたが、一人で何もかもしないといけなひのがしんどくなり、かつ不安が強くなってきたことで本人が施設入居を検討。長男が住んでいる貝塚市の	39

			でござせ退去となつた。 ○89 歳男性 6 月に複数回居室で転倒し痛みで動けなくなりかかり付けの岸和田市民病院に入院。圧迫骨折と併せて肺炎が見つかり、かつ心不全も患ひ状態悪化、病院でござせ退去となつた。		当施設に入居された。	
9 月	39	1	○84 歳男性 認知症があり他者への攻撃性が以前から見受けられる方で、他の入居者に色々と指摘され、それを第三者に話したのではないかと興奮し詰め寄る。適宜職員が間に入り制止したが、度々興奮し詰め寄ることがあつた。朝食前に玄関ホールで興奮し詰め寄り押し倒そうと手をあげたことから、施設での生活が続けることが困難だと判断され精神病院に入院し退去となつた。	1	○87 歳女性 貝塚市のご自宅で夫と二人暮らしだったが、夫の ADL の低下等から負担が大きくなり、昨年 10 月に夫のみ当施設に入居され、そこから独居生活を送られていた。その辺りから不安が大きくなり家族の負担が増長、手がかかる状況となつた為家族が説得し夫と一緒に当施設に入居となつた。	39
10 月	39	1	○89 歳男性 5 月に転倒し右ひじ骨折し入院。完治後下肢筋力の低下があり老健にてリハビリを実施されていたが、なかなか改善されず。当施設に復帰し生活が続けることが困難であると家族が判断し別施設へ転居されることとなつた。	2	○87 歳女性 貝塚市在住で当法人の小規模多機能型居宅介護の支援を受けながら生活をされていた。元々から生活で不安を感じていて、心疾患で体調を崩されることもあり、当施設入居を検討。誤嚥性肺炎や心不全で入院され、状態改善後入居となつた。 ○94 歳女性 貝塚市在住で独居生活をされていた。近所に住む長男夫婦の支援を受け生活されていたが独居での生活に本人も家族も不安を感じデイを利用し知っている職員が多数在籍する当施設に入居となつた。	40
11 月	40	1	○97 歳男性 8 月下旬から貧血が酷く、状態が悪い為貝塚病院入院後リンパ腫が判明。転移もあるので積極的治療は行わず、病院でござせ退去となつた。	1	○88 歳男性 貝塚市在住で長男夫婦と同居されていた。長男嫁が色々とお世話をしてくれていたが、長男様が体調を崩されお嫁様の負担が大きくなることから、ご本人納得の上で当施設入居となつた。	40
12 月	40	0		0		40

1 月	40	2	○91 歳女性 10 月に居室で転倒され、恥骨骨折が判明し入院。治癒後リハビリし復帰予定であったがリハビリが思うように進まず、当方への復帰は困難であると病院・家族が判断。退院し住宅型有料老人ホームへ転居された。 ○95 歳男性 11 月下旬から動きが悪く車椅子介助が必要な状態で介護拒否もある為転居した方が本人にとって良いと家族様が判断され有料老人ホームへ転居された。	2	○84 歳女性 貝塚市在住で独居生活をされていた。北摂や他県に住む息子達が月に何度か訪ねて来られ支援を受けながら生活されていたが、認知症や不安神経症があり独居生活が厳しいと家族が判断し当施設入居となった。 ○87 歳女性 泉佐野市の別の軽費老人ホームで生活されていた。その軽費老人ホームが閉鎖されることになり、当施設に入居された。	40
2 月	40	0		0		40
3 月	40	2	○94 歳女性 1 月に肝数値の異常から急遽市立貝塚病院を受診してもらい胆管結石と狭窄が判明し入院。病状自体は治療で安定し退院されたが、今後も同様の流れは想定され、その度家族が病院に連れて行くことが困難とのことで、有料老人ホームへ転居された。 ○82 歳女性 12 月に体調不良続き、横紋筋融解症と判明し東佐野病院に入院。治療し病状は落ち着いたが、ADL が大きく低下。復帰は困難と病院・家族が判断し老健へ移動し退居となった。	0		38

(ウ) 入居者の年齢別状況

※令和 8 年 3 月末現在

	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	合計	平均 年齢
女性				2	7	8	10	5	32	88.7
男性				2		3	1		6	84.7
総数				4	7	11	11	5	38	88.1
前年度				3	11	5	16	5	40	88.5

※男性最高齢:92 歳、男性最年少:78 歳 女性最高齢:98 歳、女性最年少:77 歳

(エ) 入居者の介護度及びサービス利用状況

介護度		要支援		要介護					事業 対象者
		1	2	1	2	3	4	5	
人数		0	6	9	8	6	2	1	2
利用	通所介護	0	5	7	6	6	0	0	2
	訪問介護	0	1	4	5	5	0	0	2

	福祉用具	0	3	7	5	6	2	1	0
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能型 居宅介護	0	0	0	2	0	2	1	0

(オ) 入居者の入居前の居住地域

地域	男性	女性	合計
貝塚市内	5	25	30
泉州圏(高石市～岬町まで)	0	5	5
大阪府内で泉州圏以外	0	0	0
大阪府外	1	2	3

(カ) 入居の平均期間

性別	平均入居期間	最長入居期間
男性	5 年 10 か月	16 年 2 か月
女性	5 年 2 か月	25 年 6 か月
施設全体	5 年 3 か月	25 年 6 か月

(サ) 主な行事

4 月	お花見
5 月	春のお食事ツアー（きくのや）、菖蒲湯
6 月	二色の浜バーベキュー
7 月	七夕 食事会(夢一喜高石店) 西幼稚園交流会 消防訓練
8 月	夏祭り
9 月	敬老の日（豪華食事） お出かけドライブ（桃李）
10 月	ふれあい運動会 ポップサーカス鑑賞
11 月	菊花展 創立記念式典
12 月	日帰り旅行 犬鳴山み奈美亭 クリスマス会
1 月	初詣 新春お楽しみ会 消防訓練
2 月	節分行事 バレンタインデー 食事会(天風軒)
3 月	桃の節句

※本来 3 月実施予定だった合同カラオケ大会は日程の都合で R8.4.3 開催となった

※特記事項…○貝塚市民図書館・移動図書館ひまわり号、月 1 回来訪。

○6 月の誕生日会は該当者がいない為実施せず。

＊その他：毎月誕生日会・寺子屋・お元気教室・ショッピング

レクの日…毎月１回実施。内容は毎回違う事を実施

- ・頭を使ったゲーム・お散歩・もの作り・頭の体操
- ・模擬カジノ・大人の塗り絵等

ウ.新型コロナウイルス等感染症への対応について

(ア) 入居者の各ワクチン接種状況

○新型コロナウイルスワクチン

今年度から集団接種は無くなり、各々がかかりつけ内科受診時等に接種する形となった。そして課税世帯には助成が無く、代金が非常に高くなることから接種しないことを選択された方もいた。

② デイサービスセンター（定員 65 名）通所型サービス A 10 名 介護給付 55 名

ア.概要

- 認知機能及び身体機能の低下が進行し自宅での生活から施設（有料老人ホーム等）に転居される方が増え、利用回数の多かった方の利用中止が多くみられた。
- 昨年度に看護職員の退職が相次ぎ上半期は補充が出来ず、下半期で数名の入社があった。補充できなかった間、人員配置基準を順守するため利用者数を制限したこともあり、昨年度に比べて延べ人数・実人数ともにやや減少気味である。
- ケアマネジャーに利用数の空き状況の伝達などを日々の状況に合わせて上手く伝達できず、「ふれあいさんは空きがないから」というイメージがつきご紹介していただけないこともあった。今後、ケアマネジャーとの連絡等を頻繁に行い、情報を適宜更新し発信していく。
- 行事・レクリエーションについて、夏祭りなどの大行事や毎月の小行事も計画的に行うことができおり、季節感を感じてもらいながら楽しんでいる。
行事の準備等で一部の職員に偏り負担にならないように、また準備に手間取らないように準備に対しても計画し、職員全員が協力して行えるようにしていく。
- 非常勤の介護職員から勤務日数の増加や勤務時間の延長の希望があり配慮している。前職が福祉関係でない職員に対しても丁寧に指導を行っている。また、認知症介護基礎研修の受講で高齢者及び認知症高齢者への理解や対応方法を深めてもらった。

イ.利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援 1・2		要介護		総合計		1 日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1日平均
R7/4	88	16	1,040	104	1,128	120	43.3	1,161	118	44.6
R7/5	96	18	1,048	98	1,144	116	42.3	1,212	117	44.8
R7/6	104	18	993	103	1,097	121	43.8	1,133	121	43.5
R7/7	108	17	1,089	100	1,197	117	44.3	1,224	123	45.3
R7/8	93	17	1,009	98	1,102	115	42.3	1,082	119	41.6

R7/9	94	18	981	101	1,075	119	41.3	1,123	123	43.1
R7/10	105	16	1,027	102	1,132	119	41.9	1,235	124	45.7
R7/11	96	18	987	102	1,083	120	43.3	1,199	122	48.1
R7/12	109	18	1,026	104	1,135	122	45.5	1,095	123	45.6
R8/1	100	18	969	100	1,069	118	44.5	1,040	121	43.3
R8/2	104	20	925	97	1,029	117	42.9	1,037	125	43.2
R8/3	95	17	1,019	99	1,114	116	42.8	925	123	42.0
合計	1,192	211	12,113	1,209	13,305	1420	43.1	13,466	1,459	44.1

* R8.3 月 平均介護度：要介護 1.91 平均年齢：86.6 歳（前年度 平均介護度：2.04 平均年齢：86.4 歳）
平均介護度は要支援以下を 0.375 と計算しています。

ウ.主な行事

4 月	・ボウリング大会 ・おやつ作り（抹茶どらやき）
5 月	・しょうぶ湯 ・こどもの日ゲーム ・おやつ作り（こいのぼり焼き）
6 月	・すごろくゲーム ・七夕飾りづくり ・おやつ作り（たこ焼き）
7 月	・七夕会（笹飾り・七夕ゲーム） ・海の日ゲーム ・おやつ作り（アップルパイ、アメリカンドッグ） ・西幼稚園交流会（お遊戯等） ・消防訓練（ケアハウス合同）
8 月	・夏祭り
9 月	・敬老の日お楽しみ会及び行事食（プレゼント配布） ・ハロウィン物づくり（ハロウィン壁飾り） ・おやつ作り
10 月	・ふれあい運動会 ・おやつ作り（かぼちゃのお焼き）
11 月	・ボウリング大会 ・クリスマス物づくり（クリスマス BOX） ・貝塚市社協ボランティア連絡会（アコーディオン演奏会） ・創立記念行事食
12 月	・ゆず湯 ・クリスマス会
1 月	・新春お楽しみ会（利用者カラオケ大会） ・おやつ作り（たこ焼き） ・消防訓練・避難訓練（ケアハウス合同）
2 月	・節分鬼退治・バレンタインおやつ作り
3 月	・雛祭りゲーム

③ デイサービスセンター敏庵（定員 32 名）

通所型サービス A 12 名 介護給付 20 名 1 日 2 単位（午前・午後）

ア.概要

- 昨年度に比べて、利用延べ人数は増加傾向であり、実人数は横ばいである。通所型サービス A の利用者が介護給付になる方が多くなっており、自宅での介護量が増加し一日型のデイサービス（ふれあい二色の浜）に移行される方が増えている。
- 同法人で数か所（ケアハウス、プランセンター、デイサービス（一日型）、敏庵、ヘルパーステーション等）の事業所を利用されている方も多く、常に連携を図っている。
- 軽介護度の方が多いためか、ご自身のご用事で急遽利用がキャンセルになることも多く、予定利用者数と実際の利用者数の差異が大きくなることもある。
- 要支援の方が多く、毎年 8 月のお盆時期にはキャンセルが多くなり利用者数が激減するため今年度も 8 月 14 日、15 日を夏季休業とした。利用者・家族からの不満の声はなかった。
- 昨年度に産休・育休を取得した職員が 4 月より復帰。また、昨年度に入社した介護職員（柔道整復師）も継続して勤務しており、職員の体制が落ち着きつつある。
- 運動マシンや運動機器等の不具合の確認を日々行っており必要に応じてメンテナンスを実施し、危険や不具合のないようにしている。
- 今年度は毎月の計画的なレクリエーションを継続することが出来ていないが、毎日、短時間であるが季節のお話、時事ネタや頭の体操、歌体操などの時間をもつ工夫をしており、楽しんでいただいている。

イ.利用者状況

（単位：名）

	事業対象者 要支援 1・2		要介護		総合計		1 日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1 日平均
R7/4	354	67	293	48	647	115	29.4	611	111	27.7
R7/5	358	66	318	54	676	120	30.7	666	115	28.9
R7/6	301	63	300	53	601	116	28.6	530	117	25.2
R7/7	346	61	336	54	682	115	29.6	622	112	27.0
R7/8	258	59	272	54	530	113	27.8	524	109	26.2
R7/9	306	59	310	52	616	111	28.0	582	113	26.4
R7/10	340	51	329	50	669	101	29.1	661	113	28.7
R7/11	275	56	281	53	556	109	27.8	583	113	27.7
R7/12	293	59	301	51	594	110	28.3	558	109	27.9
R8/1	289	58	286	53	575	111	28.8	552	110	27.6
R8/2	292	60	278	52	570	112	28.5	560	112	28.0
R8/3	325	58	328	52	653	110	29.7	571	113	27.1
合計	3,737	717	3,632	626	7,369	1,343	28.8	7,020	1,347	27.3

* R8.3 月 平均介護度：要介護 1.06 平均年齢：84.7 歳（前年度 平均介護度：1.04 平均年齢：84.9 歳）

平均介護度は要支援以下を 0.375 と計算しています。

④ ヘルパーステーション

ア.概要

○上半期は、利用者実人数は昨年より少ないものの延べ人数が増加していたが、利用者の入院や施設入所のため利用中止が相次ぎ、特に 8 月で終了された方は訪問回数が多く、9 月には延べ人数が大幅に減少している。

下半期についても、新規利用者の獲得が行えず実人数及び延べ人数の減少がみられた。

○総合事業 訪問型サービス A 型の指定はとっておらず、現行型の訪問サービスの指定のみである。貝塚市は現行型のサービスは特別な理由がないと算定できないため対象者がおらず、事業対象者及び要支援 1・2 の方の利用はなかった。

○訪問サービスの空き状況（空き時間帯）を、ケアマネジャーに提示することでサービス依頼をスムーズに行えるようにするなどの対策を行ったが、新規利用者の獲得が減少するとともに、人員不足に伴い稼働率が低下した状態が続いていた。さらに、上記のとおり、利用者の入院や施設入所のため利用中止が相次ぎ、利用者数及び訪問回数の減少。売り上げの低下が続いている。左記のことから、やむを得ず令和 8 年 3 月 31 日をもって休止とする。

イ.利用者状況

（単位：名）

	事業対象者 要支援 1・2		要介護		総合計		1 日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1日平均
R7/4	0	0	363	33	363	33	13.9	349	35	13.4
R7/5	0	0	371	32	371	32	13.7	359	34	13.3
R7/6	0	0	340	31	340	31	13.6	314	31	12.0
R7/7	0	0	357	32	357	32	13.2	345	32	12.7
R7/8	0	0	335	30	335	30	12.8	332	32	12.3
R7/9	0	0	275	30	275	30	10.5	297	32	11.4
R7/10	0	0	275	29	275	29	10.2	378	33	14.0
R7/11	0	0	231	31	231	31	9.2	376	34	14.4
R7/12	0	0	236	29	236	29	9.4	358	33	14.9
R8/1	0	0	219	27	219	27	9.1	351	33	14.6
R8/2	0	0	212	26	212	26	8.8	345	34	14.3
R8/3	0	0	196	22	196	22	7.5	363	33	13.9
合計	0	0	3,410	352	3,410	352	10.9	4,167	396	13.4

* R8.3 月 平均介護度：要介護 2.3 平均年齢：88.2 歳（前年度 平均介護度：2.3 平均年齢：86.4 歳）

平均介護度は要支援以下を 0.375 と計算しています。

⑤ ケアプランセンター

ア.概要

○昨年にケアマネジャーが 1 名増員になり、ケアマネジャー 5 名の体制になり、利用者数が増加している。令和 8 年 4 月には、ケアマネジャー 1 名が人事異動で他部署に配属となる予定で、減員となる。5 名体制を目指し求人を行う予定である。

- 包括支援センターからの、困難ケースの依頼を受けることが多く、利用者自身の課題だけでなく家族の抱える課題など多種多様な問題を重複的に抱えているケースも多い。
- 癌末期や重度認知症の新規利用者が増えており、初回から終了までが短期間であるケースが増加している。その中でも満足した在宅生活を送っていただけるように配慮し支援している。
- 週 1 回の職員会議を通じて、社会資源の共有や個々のケースの事例検討、対応技術、対応力の向上を図っている。
- 他のケアプランセンターとの情報交換や事例検討会など年 2 回行っており、事例の提供や検討会の参画など中心的な役割を担うこともある。
- 貝塚市からの受託により要介護認定調査を月 10 件程度行っていたが、「令和 8 年 2 月から指定市町村事務受託法人へ業務委託することとなった」と通知があり、令和 8 年 1 月で終了となった。ただし、他市町村の要介護認定調査は継続（年数件）の予定である。

イ.利用者の状況

ケアマネ 1 名：45 件以上は減算対象 ケアマネ 5 名：221 件以上は減算対象（R6 年 4 月改正）

* 事業対象者・要支援 1・2 の利用者は、包括支援センターからの受託プランである。
* 事業対象者・要支援 1・2 の利用者 3 名で 1 件と計算する。（介護予防支援）
* 介護予防ケアマネジメント A は件数に含まない。

	要支援				介護	合計 (実人数)	合計 予防支 援件数 +介護	ケアマネ 一人 実人数	ケアマネ 一人 件数	前年度	
	実人数	A 型	支援	支援 件数						合計 実人数	ケアマネ 一人 実人数
R7/4	37	14	23	7.6	150	187	157.3	37.4	31.5	165	33.0
R7/5	40	15	25	8.3	147	187	155.7	37.4	31.1	171	34.2
R7/6	40	15	25	8.3	152	192	160.3	38.4	32.1	174	34.8
R7/7	41	13	28	9.3	156	197	165.3	39.4	33.1	177	35.4
R7/8	38	13	25	8.3	157	195	165.3	39.0	33.1	177	35.4
R7/9	40	13	27	9.0	161	201	170.0	40.2	34.0	178	35.6
R7/10	41	16	25	8.3	163	204	171.3	40.8	34.3	177	35.4
R7/11	44	16	28	9.3	164	208	173.3	41.6	34.7	182	36.4
R7/12	46	17	29	9.7	157	203	166.7	40.6	33.3	180	36.0
R8/1	45	18	27	9.0	151	196	160.0	39.2	32.0	179	35.8
R8/2	44	17	27	9.0	151	195	160.0	39.0	32.0	183	36.6
R8/3	45	20	25	8.3	144	189	152.3	37.8	30.5	186	37.2
合計	501	187	314	104.7	1,853	2,354	1957.7	39.2	32.6	2,129	35.4

* R8.3 月 平均介護度：要介護 1.73 平均年齢：84.3 歳（前年度 平均介護度：要介護 1.8 平均年齢：84.4 歳）

平均介護度は要支援以下を 0.375 と計算しています。

⑥ 包括支援センター

ア.概要

- 総合相談支援業務については、昨年度に比べ大きな変化はなく、ご家族やケアマネジャーからの相談が多い。ケアマネジャーからの相談内容は、権利擁護相談や家族が抱える課題（家族自身の精神疾患や発達障害等）が多くなっている。
- 権利擁護相談では、成年後見制度の利用の検討や認知機能の低下等から日常生活自立支援事業（社会福祉協議会）へつなぐケースが多い。
- 上記２点のことから、障害福祉課や社会福祉協議会との連携が深くなっている。また、他の関係機関（病院、弁護士、障害サービス事業者等）との連携も多くなっている。
- 昨年度から引き続き、貝塚市内のケアマネジャーの集まりへの参加や研修の参画などを行っている。
- 保険者及び社会福祉協議会が主体となって取り組む事業に対しての協力、関わりを行っている。現にある会や協議体に対してはメンバーとして参加し、意見交換をしている。新たに立ち上がる会に対しては、準備会に参加している。発足後も参加の予定である。
- 社会福祉協議会から貝塚市の市民ボランティアの育成のための研修会に参加してほしいと依頼があり、参加予定。市民ボランティアの方との交流の場にもなると思われる。
- 日々変わる社会資源などを積極的に入手し、活用できるように努めている。

イ.実績報告

①総合相談支援業務

年度	相談件数		相談経路									
	実人数 (新規)	延べ件数	本人	家族	民生委員	ケアマネ ジャー	介護サー ビス事業所	医療機関	近隣住民	市関係 部署	警察	その他
R7	488 (133)	1,091	198	334	34	232	34	54	13	141	2	49
R6	516 (142)	1,344	219	421	20	284	91	85	14	183	2	25

年度	相談方法件数 (延べ)			相談経路										
	電話	訪問	来所	介護 保険	福祉サ ービス	保健・ 医療	認知症	施設	生活 相談	虐待	権利 擁護	経済 問題	介護 離職	その他
R7	648	310	133	829	27	691	249	94	159	35	113	51	0	22
R6	826	383	135	875	50	914	430	175	220	93	87	161	0	50

②権利擁護業務

年度	虐待関係相談		虐待種別（複数回答可）					担当者 会議
	実人数 (新規)	延べ件数	身体的	心理的	経済的	性的	介護放棄	
R7	21(2)	35	13	25	1	3	0	2
R6	36(10)	93	76	53	0	0	0	4

年度	権利擁護相談		相談種別（複数回答可）				担当者 会議
	実人数 （新規）	延べ件数	日常生活支援	成年後見	消費者被害	その他	
R7	45(7)	113	50	74	0	22	3
R6	41(2)	87	7	57	0	25	3

③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

年度	ケアマネ ジャー支援数 （延べ）	相談方法件数（延べ）					相談経路						
		電話	面接	担当者 会議	同行 訪問	その他	制度	ケア プラン	家族等 の課題	医療	権利 擁護	経済 問題	その他
R7	232	262	89	11	18	0	14	91	97	86	77	8	32
R6	284	149	94	21	26	0	19	112	69	142	73	16	55

④介護予防ケアマネジメント

年度	介護予防プラン 作成数	内訳	
		包括	委託
R7	4,121	491	3,630
R6	3,862	540	3,322

⑤実態把握等業務

年度	介護福祉サービス 実態把握訪問数	サービス内容（重複可）							
		紙オムツ	緊急通報	愛の一声	日常生活 用具	代行申請	住宅改修 等	徘徊ネッ トワーク	その他
R7	93	20	2	1	0	38	10	17	5
R6	88	17	2	0	0	40	4	11	14

⑥介護予防・認知症等教室

年度	教室内容			
	介護予防普及啓発 教室（単発）	介護予防地域活動組織育成教室 （つげさんお元気自主体操グループ支援）	家族介護教室	認知サポート 養成講座
R7	15	0	0	4
R6	16	0	0	4

⑦地域包括支援センター職員 受講研修等

年度	研修内容				
	介護予防に関する 研修	高齢者虐待に関する 研修	認知症に関する 研修	地域包括ケアに 関する研修	その他（権利擁護・在宅 医療等に関する研修）
R7	0	0	0	1	4
R6	1	0	2	2	3

⑧地域密着型運営推進会議

年度	事業所名				
	地域密着型特別養護 老人ホーム	認知症対応型 共同生活介護	小規模多機能型 居宅介護	定期巡回型随時対応 型訪問介護看護	地域密着型 通所介護
R7	6	8	8	1	4
R6	6	5	11	1	3

⑨地域連携推進活動

年度	
R7	40
R6	46

⑩地域包括支援センター合同連絡会（泉州地区分含む）

会議名	年度	
	R7	R6
貝塚はっぴいネットワーク会議（三包括定例会）	12	12
貝塚はっぴいネットワーク会議（実務者会）	8	9
貝塚市生活支援・介護予防サービス協議会	3	3
総合事業個別ケース会議	7	8
泉州地区連絡会	0	0
その他	1	2

⑪地域ケア会議

年度	拡大地域ケア会議		
	開催回数	個別課題（件）	地域課題（件）
R7	116	330	16
R6	112	431	30

⑦ 小規模多機能型居宅介護

ア.概要

- 疾患の悪化や身体機能・認知機能の低下が著しい方など様々な状態の方がおられ、通所及び訪問回数が増加している。また、それぞれの方への対応に対して、その方の思いや今までの生活を受け入れ寄り添うことを第一とし関わりをもつように心がけている。
- 上記のような状態であることから、状態の変化や状況の変化が大きく随時対応となることも多いが、利用者の方の希望や依頼に応じることが出来るよう配慮している。
- ご家族の介護力や思いも確実にくみ取り、過不足のない提案や関わりを行い在宅生活が良い形で継続できるよう心掛けている。
- 目の前の課題を解決するだけでなく、予後予測、リスクマネジメントの観念をもち観察力の向上を図った。また、職員の気づきを職員間で共有しチーム全体として捉えるようにした。
- 以前からの関わりがあった近隣の方との交流の継続や、西幼稚園の園児さんの来訪で交流を

もつことができた。今後も地域の方との交流など継続できるように働きかけを行いたい。

イ.利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援 1・2		要介護		総合計		前年度 総合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
R7/4	36	2	515	8	551	10	448	9
R7/5	37	2	536	8	573	10	496	9
R7/6	35	2	457	8	492	10	440	8
R7/7	44	2	446	7	490	9	494	9
R7/8	38	2	416	7	454	9	495	10
R7/9	39	2	438	7	477	9	563	10
R7/10	16	1	438	9	454	10	659	11
R7/11	16	1	398	8	414	9	627	11
R7/12	14	1	419	9	433	10	635	11
R8/1	16	1	425	9	441	10	624	11
R8/2	18	1	399	9	417	10	583	11
R8/3	21	1	435	9	456	10	644	11
合計	330	18	5,322	98	5,652	116	6,708	121

* R8.3 月 平均介護度：要介護 2.9 平均年齢：88.8 歳（前年度 平均介護度：2.3 平均年齢：89.3 歳）

平均介護度は要支援以下を 0.375 と計算しています。

	訪問回数		通所回数		宿泊回数	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
R7/4	364	9	187	10	0	0
R7/5	372	9	201	10	0	0
R7/6	314	9	178	10	0	0
R7/7	304	8	186	9	0	0
R7/8	271	8	177	9	6	2
R7/9	298	8	181	9	0	0
R7/10	270	9	182	10	2	1
R7/11	238	8	174	9	2	1
R7/12	252	9	181	10	0	0
R8/1	250	8	189	10	2	1
R8/2	227	9	188	10	2	1
R8/3	251	9	202	10	3	2
合計	3,411	103	2,226	116	17	8